

2024年6月15日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：愛知県下NICUから退院した医療的ケア児の実態調査

本研究は日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院倫理審査委員会で審査され、藤田医科大学学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2016年4月1日から2023年3月31日の間に、藤田医科大学病院の新生児集中治療施設(NICU)から在宅医療ケアとともに退室したお子様が対象です。対象となる医療的ケアは、人工呼吸器、気管切開、鼻咽頭エアウェイ、酸素吸入、中心静脈栄養、経管栄養(経鼻胃管、胃瘻、腸瘻)、透析、導尿、人工肛門です。

当研究に研究の対象になる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、下記に示しますお問い合わせ先まで、お申し出くださいますようお願いいたします。

2. 研究目的・方法・研究期間

「研究目的と方法」

近年、新生児集中治療施設(NICU)に入院する医療的ケア児の在宅ケアへの移行支援が、地域保健医療計画に基づいて整備されてきました。これにより2000年代に問題となっていたNICU長期入院児は減少し、周産期母子医療センターの搬送受け入れの円滑化に貢献していると推測されます。一方で、医療的ケア児は年次的に増加し社会的にも注目されていますが、在宅移行前の主な入院施設はNICUとされています。愛知県においても全国と同様な傾向が生じていると推測されますが、その詳細は不明です。本研究は愛知県内のNICUを有するすべての施設と共同して、愛知県内のNICUから発生する医療的ケア児について、過去の診療録をもとに発生数、基礎疾患、医療的ケア内容、重症度とその推移を後方視的に調査し、NICUからの医療的ケア児の在宅移行の実態把握を目的に行います。

「研究期間」

研究実施期間：倫理審査委員会承認日から2026年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院中情報(出生週数、出生体重、入院時主病名)、退室時情報(退室時月齢、退室先、退室時の主病名、医療的ケア内容、重症度、居住地)、転帰情報(最終受診

年齢、医療的ケアの転帰、主な生活場所)

4．外部への試料・情報の提供

共同研究者とともに匿名化された収集データの解析をおこなう可能性があります。
データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5．研究組織

・研究代表者：

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 小児保健科 中山淳

・本学の研究責任者：

藤田医科大学 医学部小児科学教室 講師 藤野正之

・研究分担者

藤田医科大学 医学部小児科学教室 臨床教授 宮田昌史

藤田医科大学 医学部小児科学教室 講師 帽田仁子

藤田医科大学 医学部小児科学教室 助教 川井有里

藤田医科大学 医学部小児科学教室 助教 眞鍋正彦

藤田医科大学 医学部小児科学教室 助教 船戸悠介

藤田医科大学 医学部小児科学教室 助教 神野重光

・共同研究機関：

JA愛知厚生連安城更生病院 加藤有一

公立陶生病院 加藤英子

社会医療法人宏潤会大同病院 浅井雅美

トヨタ記念病院 山本ひかる

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 加藤丈典

名古屋市立大学病院 深谷聡子

名古屋大学医学部附属病院 鈴木俊彦

半田市立半田病院 水谷謙介

・既存試料・情報の提供のみを行う機関：

愛知医科大学病院、あいち小児保健医療総合センター、一宮市立市民病院、岡崎市民病院、JA愛知厚生連海南病院、医療法人豊田会刈谷豊田総合病院、JA愛知厚生連江南厚生病院、小牧市民病院、豊橋市民病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でもお申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障はない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することは出来ますのでお申出下さい

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医学部小児科学

担当者: 藤野正之

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9251